



発行：国立市

くにたちのあゆみ

History of Kunitachi

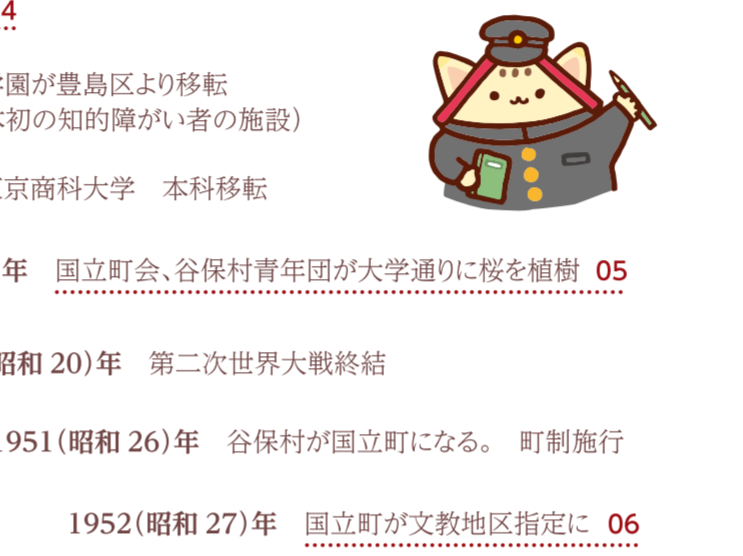
- 01 顔面把手付土器**
縄文時代 紀元前 4000 年前 顔面把手付土器
- 02 四軒在家遺跡**
古墳時代 下谷保第一号墳 四軒在家遺跡
- 1923(大正 12)年 関東大震災おこる
- 1924(大正 13)年 箱根土地(株)による 100 万坪開発はじまる
- 1926(大正 15)年 国立駅開業
- 1927(昭和 2)年 東京商科大学(現一橋大学)専科移転 兼松講堂落成

- 02 四軒在家遺跡 [B-4]**
7 世紀の古墳時代、この地に暮らした豪族の墓。多摩川の河原石を積み上げた横穴式石室で、南部の四軒在家公園に移築され、保存されています。
- 03 赤い三角屋根の旧国立駅舎**
大正 15 年、町を開発した箱根土地(株)が当時の鉄道省に駅舎を寄付し、国立駅が開業。JR高架化にともなう解体されましたが、復元工事に入る予定です。(くにたち郷土文化館提供)
- 04 一橋大学兼松講堂 [D-2]**
異色の建築家・伊東忠太により建てられたロマネスク様式の講堂は、随所にみられる魔物の装飾が魅力的です。コンサートや公開講座で市民にも親しまれています。



このまちのルーツをたどる
豊かな水源に恵まれて、縄文時代以前から人々が集まり、農業を営んできた谷保村。昭和2年、都心から大学が移転してきたことで「国立」となり、独自の発展を遂げてきました。先人たちが歩んだ歴史を振り返るとこのまちの魅力的な個性がみえてきます。

- 05 大学通りの桜 [D-2/D-3]**
昭和8年の皇太子生誕を記念して、国立町会が桜の植樹を決定。谷保村青年団国立支部の若者たちが苗木の世話に協力し、見事な桜並木が誕生しました。
- 1928(昭和 3)年 滝乃川学園が豊島区より移転 (日本初の知的障がい者の施設)
- 1930(昭和 5)年 東京商科大学 本科移転
- 1934(昭和 9)年 国立町会、谷保村青年団が大学通りに桜を植樹
- 1945(昭和 20)年 第二次世界大戦終結
- 1951(昭和 26)年 谷保村が国立町になる。町制施行
- 1952(昭和 27)年 国立町が文教地区指定に
- 1967(昭和 42)年 国立町、国立市となる 市制施行
- 2000(平成 12)年 国立市平和都市宣言
- 2006(平成 18)年 府中用水が全国疎水百選に選ばれる



文化と自然、どちらも大好き!

学園都市と農ある暮らしが楽しめるまち

JR中央線の国立駅を降りると、目の前には、木々に囲まれた広くて美しい大学通りが、南に向かって真っすぐに伸びています。商店街を抜けると、両側には若者たちが行ききかう一橋大学があり、構内にはアカマツの大木など、かつての武蔵野の森の名残を見ることができます。国立市は、小さな村が大学の移転をきっかけに発展してきた、平和で暮らしやすい学園都市です。



季節を感じる大学通り
春には桜、夏の新緑、秋にはイチョウの木々が両側を彩る大学通り(幅 44m)。新東京百景にも選ばれた人気の散歩道です。

谷保天満宮
学問の神様、菅原道真をまつる谷保天満宮の遷座は1181年。この地の農業を守る氏神様でもあり、毎年秋には例大祭が開催されます。



学園都市とアート
一橋大学、東京女子体育大学、桐朋学園など、多くの教育機関に加え、20以上のギャラリーや彫刻作品が点在するアートのまちです。

多摩川から眺める富士山
南部を流れる多摩川沿いにはサイクリングロードが整備され、朝に夕に、丹沢山系の向こうに雄大な富士山を見ることができます。



気軽においしいグルメ
おいしい飲食店や、個性的なカフェ。こだわりの国立スイーツをお土産に。

新鮮・おいしいくにたち野菜
ほうれん草やお小松菜、大根、なすにトマト、梨など、新鮮野菜や果物は市内各所の直売所で買うことができます。

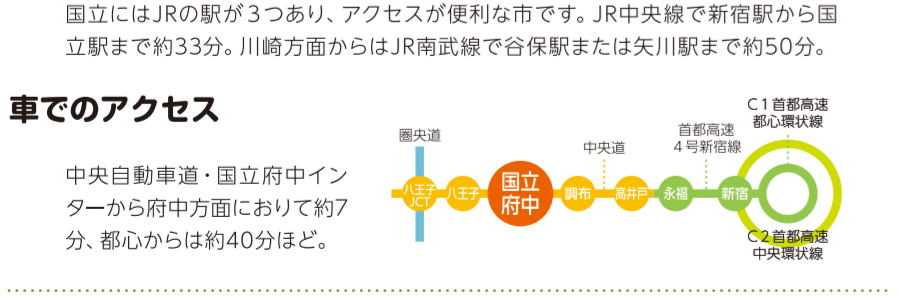
イベントカレンダー

日本の伝統的なお祭りや季節ごとのにぎやかな市には、毎年多くの人々が訪れます。ぜひおいでください。

- Spring 春 3~5月**
 - 梅まつり**
2月最終土曜・日曜 [D-4] 谷保天満宮といえば道真ゆかりの梅林。紅白の梅を愛でながら、野点(のだて)やお琴、二胡の演奏会、稚児舞「紅わらべ奉奏」が披露される風流な行事です。
 - さくらフェスティバル**
4月上旬土曜・日曜 [D-3] 谷保第三公園で、さくら通りの桜を楽しみつつ開かれるイベント。地元野菜の即売会や模擬店、はしご車体験、フリーマーケットなど家族連れでにぎわう2日間。
 - さくらウォーキング**
4月上旬日曜 大学通りや根川緑道など、国立から立川にかけての桜の名所を歩いてめぐります。コースは約9キロ、3時間程度。途中さくらフェスティバルの会場を通ります。
 - LINKくにたち**
5月中 [D-2] 大学通りを歩行者天国にして行われるスポーツイベント。3時間耐久リレーマラソンのほか、市内のスポーツ系団体がイベントを行います。
- Summer 夏 6~8月**
 - あじさい祭り**
6月下旬の土曜・日曜 [D-4] 谷保天満宮のあじさいは、市民の寄付によって28種類、約800株が咲きそろう。初夏の夜を彩ってくれます。夕方から夜にかけて、お囃子などの催しも。
 - ほおずき市**
6月下旬 [D-4] 朱色のほおずきは、昔は薬草として珍重されていたそうです。谷保第一公園(通称汽車ポッポ公園)にて、ミニSLや音楽ライブ、模擬店などのおまつりが開催。
 - くにたち朝顔市**
7月第一週土曜・日曜 [D-2] 市内の生産者「朝顔の里」で育てた朝顔が、大輪の見事な花を咲かせて早朝の大学通りにズラリ。浴衣姿のお客さんも多く、江戸風鈴の音色も涼しげに響きます。
 - 盆踊り**
7月半ばから8月末 夏の風物詩といえば、やぐらの周りに輪になって踊る盆踊り。太鼓の音もにぎやかに、市内の公園や校庭で大小20もの盆踊りが、夏の間、次々と開催されます。
- Autumn 秋 9~11月**
 - 例大祭**
毎年9月25日 [D-4] 谷保天満宮では、古式獅子舞(国立市無形文化財)、万灯行列、江戸里神楽奉納など伝統的な神事が行われ、市内各所には神酒所が設置、神輿や山車も出てにぎわいます。
 - 市民まつり・天下市・一橋祭**
11月中 [D-2] 商店が出店する天下市の最終日は市民まつりも重なり、大学通りは歩行者天国になってパレードやパフォーマンスが楽しめます。一橋大学では学園祭が開催されます。
 - おかから火**
11月3日 [D-4] 谷保天満宮拜殿の前に高さ3mの二つの薪の山を積みあげ、18時に一斉に点火。煙にあたると無病息災に。その年ついた嘘を燃消しにする「うそ替え神事」にも注目。
 - 農業まつり**
11月半ば土曜・日曜 [C-4] 地元農家の新鮮野菜・谷保米の即売会に、農産物品評会。くにたち野菜もあります。農家の皆さんがつくる野菜の宝船をぜひご覧下さい。
- Winter 冬 12~2月**
 - 旧車祭**
12月第一週の日曜 [D-4] 百数年前、日本で初めて交通安全折願が行われた谷保天満宮。それにちなんで、境内や谷保周辺に全国からクラシックカーやスポーツカーが集まり、市内を走行します。
 - イルミネーション**
12月 [D-2] 大学通りの10本のイチョウに輝く9万個のLED。旭通りの8mものモミの木など、市内の商店会では工夫を凝らしたイルミネーションが、冬の夜に美しく輝きます。
 - 除夜の鐘・初詣**
12月31日~1月上旬 [B-4/D-4] 南養寺では、大晦日の夜、誰でも除夜の鐘を叩くことができます。また学問の神様をまつる谷保天満宮には、多くの受験生が合格祈願の絵馬を奉納しに初詣に訪れます。
 - どんど焼き**
1月半ば 谷保第三公園をはじめ、市内各所で正月飾りやお守りなどを集めて、お焚きあげを行います。細い竹の先につけた糰子とよばれるお団子がふるまわれ、炎で焼いて食べます。

国立市アクセスマップ

国立市は東京都のほぼ真ん中に位置します。東は府中、北は国分寺、西は立川、多摩川をはさんで南は日野市と接しています。



国立市概要
面積：8.15平方キロメートル
人口：75,932人(2018年4月1日現在)
世帯数：37,424世帯(2018年4月1日現在)

市の鳥：シジュウカラ
市の花：梅
市の木：イチョウ
市の色：みどり

発行日：2018年9月 改訂・非売品
発行元：国立市
電話：042-576-2111(代表)
制作協力：国立市観光まちづくり協会

▶国立市HPは **国立市** で検索
▶ウォーキングマップは **国立市ウォーキングマップ** で検索
▶観光情報は **くにたちナビ** で検索

▶おみやげは **くにたちスタイル** で検索
▶店舗ガイドは **国立ショッピング情報** で検索
▶直売所情報は **くにたちあぐリッポ** で検索



大学通り(秋) [D-2/D-3]

春には、満開のソメイヨシノの下をそぞろ歩きできる大学通り。秋にはイチヨウの紅葉を眺めながら季節の変化を楽しみます。



一橋大学 国立市中2-1 [D-2]

産業界に多くのリーダーを輩出してきた社会科学系国立大学法人。関東大震災で被災した神田から国立に移転。



東京都多摩障害者スポーツセンター 国立市富士見台2-1-2 ☎042-573-3811 [D-3]

障がいをもつ人がスポーツを楽しめるように、プール・体育館等を設置し、各種教室を実施。納涼祭等には誰でも参加できます。



矢川緑地(東京都保全指定地域) 立川市羽衣町3丁目 [A-3/B-3]

立川市との市境にあり、湿地帯の樹木に野鳥もやってくる小さなオアシス。緑地の湧水を集めた矢川が南へと流れていきます。



青柳稲荷神社 国立市青柳236 [A-4]

地域を守るお稲荷さんの守り神は石造りのキツネ。1月どんど焼き、2月初午、8月盆踊り、9月月夜祭が開催されます。



南養寺 国立市谷保6218 [B-4]

臨済宗建長寺派の禅寺。本堂は江戸中期の再建。大晦日のみ公開される観音堂の故・前田常作氏の天井マンダラ画は必見です。



さくら通り(春) [B-3/C-3/D-3]

毎年春に、枝を伸ばした桜がつくるアーチの風景は本当に美しく、写真撮影の人気スポットのひとつです。



くにたちアートビエンナーレ [D-2]

2015年にスタートした2年ごとの芸術祭。2015年の野外彫刻展受賞作品6点が、大学通りに設置されています。



くにたち市民芸術小ホール 国立市富士見台2-48-1 ☎042-574-1515 [C-3]

336人収容のホール、70人規模のスタジオ、音楽練習室、ギャラリーなどを備えた市のアート関連施設。隣は総合体育館。



ママ下湧水公園 国立市矢川3-12 [B-4]

ママとは土地の言葉で産線のこと。南部の産線下にある10カ所ほどの湧水ポイントのなかでも、最大の水量があります。



滝乃川学園本館(国登録有形文化財) 国立市谷保6312 [B-4]

日本初の知的障がいの人々のためのキリスト教系福祉施設。昭和初期に建てられた本館は10月末の文化財ウィークに一般公開。



多摩川サイクリングロード [B-5]

多摩川河川敷にはサッカーや野球のグラウンドがあり、川沿いのサイクリングロードを自転車で行けば、東京湾まで行けます。

Main map titled '国立市観光ガイドマップ' (National City Tourism Guide Map) with grid A-E and 1-5. Includes landmarks like 'くにニャン' (cat mascot), '矢川緑地', '滝乃川学園', '谷保天満宮', and various shops and schools.

個性が光る 国立の商店街

コンパクトな国立市には、特色のある25もの商店会があり、見どころめぐりの拠点や、季節ごとの行事を担う大切な役割も果たしています。ここでは大きく6つのエリアに分けてご紹介いたします。



国立市の玄関 国立駅前エリア

季節ごとに花や木々の変化が楽しめる大学通りでは、クリスマスシーズンには東西10本のイチヨウの木がライトアップ。



谷保天満宮のおひざもと 富士見台・谷保エリア

南武線谷保駅周辺に広がる商店街で、参詣のあとのお食事やお買いもの楽しみで、一橋大生らも活躍するプロジェクトが、まちのにぎわいづくりに貢献しています。



正面に富士山を望む 富士見台エリア

関東の「富士山百景」のひとつに認定されたように、真正面に富士山を眺めることのできる富士見通、飲食、アパレル、雑貨などセブンスのある個店がたくさん並んでいます。



南部の自然を満喫したら 矢川エリア

くにたち郷土文化館や南養寺で歴史に触れ、湧水の小川や自然を味わう山歩を楽しんで、一橋大生らも活躍するプロジェクトが、まちのにぎわいづくりに貢献しています。



文化人ゆかり 旭通り～多摩岡坂エリア

作家の故・山口瞳さん、漫画家三郎さんが著作で紹介するなどゆかりのエリア。多摩岡坂は、ロックンガールの故・志野清志さんのファン聖地としても有名です。



陸運局の近くです 北西エリア

国立駅北口から北へ西へ、個性豊かなオーナーの雑貨店、古物店などが点在し、若者に人気です。北大通り沿いの公園の中には、東京のへそといわれる地点があります。

凡例 (Legend) section with symbols for crossing, fire station, park, bus, and other facilities. Includes a list of shops and services.



谷保天満宮 国立市谷保5209 [D-4]

東日本では最も古い天満宮で、狛犬などが国指定重要文化財となっています。静かな森の境内に地域の彫刻家関敏氏の作品も。



城山公園(東京都歴史環境保全地域) 国立市谷保1700 [C-4]

中世の豪族の城館跡。武蔵野の樹林が多く残っています。4月下旬にニリンソウ、8月下旬はキツネノカミソリが見頃です。



府中用水(農林水産省・全国疎水百選) [B-4/C-4 ほか]

夏の間、農地を網のように流れる用水には小魚が棲み、希少な昆虫やコサギやカワセミもやってくる貴重な環境。



くにたち郷土文化館 国立市谷保6231 ☎042-576-0211 [B-4]

郷土の歴史や民俗、美術、自然に関する資料がそろった博物館。喧嘩を離れた静かな異空間が心地よく、企画展も随時開催。



国立市古民家(市指定文化財) 国立市泉5-21-20 ☎042-575-3300 [C-4]

城山公園内に、江戸時代の茅葺屋根・入母屋造りの民家を移築。囲炉裏や土間もあり、昔の暮らしの道具を展示しています。



郷土文化館グッズ

各種資料に加え、歴史や自然をデザイン化した手ぬいや絵葉書、市内でとれたハチミツなども販売中。お土産にぜひどうぞ。



本田家薬医門(国登録文化財) 国立市谷保5122 [D-4]

江戸初期から続く本田家は代々、書家、医者などを輩出。この門は馬に乗っても通れるくらいの高さがあります(内部は通常非公開)。



城山さとのいえ 国立市泉5-21-20 ☎042-505-5190 [C-4]

城山公園の一角にある国立の農にまつわる情報発信拠点。イベントや収穫体験などを企画は、施設の貸出も行っています。



稲作体験水田 国立市泉5-21-20 [C-4]

古民家前の田んぼでは、6月の田植えから10月の稲刈りまで、小学5年生の稲作体験授業が行われます(農業委員会主催)。

郷土文化館&古民家の季節の催事

- ※は古民家で開催
1月 まゆ玉団子飾り
2月 節分豆まき
3月 ひなまつり
5月 端午の節句
7月 七夕飾り
8月 わら草履づくり
9月 十五夜団子づくり
11月 千支の折り紙教室
12月 しめ縄飾りづくり